



令和2年11月20日

「奥尻ワイナリー」「奥尻高等学校」「奥尻町」が 「産官学連携による地域貢献賞」を受賞

～「わが村は美しくー北海道」運動～

令和2年度 函館開発建設部独自の企画部門の表彰

函館開発建設部では、「わが村は美しくー北海道」運動の一環として、当部独自に企画部門を対象として農山漁村地域の活性化に資すると期待できる団体を表彰しています。

北海道開発局では、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目的として、平成14年から2年に一度、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールを開催しています。（別紙1）

平成30年度から、当部では独自に「企画部門」を設け、函館地域の農山漁村地域の活性化に資することが期待される活動団体を表彰しています。

今年度、審査の結果「奥尻ワイナリー、オクシリイノベーション事業部（奥尻高校）、奥尻町」が連携して地域活性化に寄与していることから3団体を「特別賞」（産官学連携による地域貢献賞）に決定しました。（別紙2）

つきましては、以下のとおり表彰式を開催しますので、お知らせします。

日時：令和2年11月27日（金）16：00～
場所：奥尻町役場（北海道奥尻町奥尻806番地）

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な人たちが「参加しよう」、「広げよう」、「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズにこうした活動に関わっていきこうとするもので、平成13年度から行っています。

「わが村は美しくー北海道」運動の各種情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

土地改良情報対策官 ひさもと 久本 俊幸 0138-42-7656



函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

「わが村は美しくー北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

「景観」の形成

魅力ある活気に満ちた北海道

「地域特産物」
のブランド化

活発な
「人の交流」
づくり

【地域特産物】

地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】

地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

第9回コンクール大賞受賞団体

特定非営利活動法人 サトニクラス【月形町】
農業と福祉のまちで「里に暮らす」農福連携に取り組んでいます



北海道真狩高等学校【真狩村】

「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます



- **参加しようー中心となるのは、地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げようー活動の輪を大きく、自由に** 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ** 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

「わが村」運動を広く伝える取組

JR北海道車内広報誌に



観光ビジネスマッチングへの参加



札幌チカホでPROMOTIONビデオ



首都圏でPR活動実施



- ✓ 北海道開発局ホームページから情報発信。
- ✓ メールマガジンの配信。
- ✓ facebook による情報発信。
- ✓ 地域活性化に資する連携協定の活用。(観光ビジネスマッチングへの参加)
- ✓ 首都圏でPR活動実施。(大北海道展への出展)
- ✓ 札幌市との連携強化による「チカホ」活用。

2020 年「わが村は美しくー函館」

奥尻ワイナリー、オクシリイノベーション事業部、奥尻町

特別賞（地域貢献賞）選考理由書

市町村名	奥尻町
団体名	奥尻ワイナリー オクシリイノベーション事業部(北海道奥尻高等学校) 奥尻町
<p>1. 活動内容</p> <p>【奥尻ワイナリー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的にワイナリー建設が増加している中、奥尻ワイナリーは日本初の「離島ワイナリー」としてスタートし、島内で原料用ぶどうをすべて自社栽培により確保し製品化している。 ・「奥尻島が育む葡萄で、世界中の人々に愛され続けるワイン造りに邁進する。」という企業理念が貫かれ地域ブランドとしてワインの生産・販売体制を確立させている。 ・道南はワインの産地として今後発展していく可能性があり、奥尻ワインも「先達」として、そのけん引役的な働きを期待できる。 <p>【オクシリイノベーション事業部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年に道立高校から町立高等学校に移管して新たなスタートを切った奥尻高校は、他校では総合体験カリキュラムが週1回であるのに対して、同校では2単位を設定して、町おこしワークショップを中心とした「まなびじま奥尻プロジェクト」を展開している。 ・全校生徒数は約80名、同校を進路先と選択した理由は様々であると思料するが、多くの生徒が、「自ら考え」、「失敗を恐れずチャレンジしていく」姿勢をもっていると感じ「頼もしい」限りである。 ・島全体が学びの場となっており、地域の人達のサポートを受けながら、「自分達で考え、実行してみる」ことを積極的に行って、新しいことに臆せず挑戦し成果を出している。 ・奥尻ワイナリーと連携して地域興しにも積極的に関わろうとしておりさらなる発展が期待できる。 <p>【奥尻町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥尻町は島の全体の活性化に向けて、農林水産業や地元住民をはじめ産官学の連携を図って発展の基礎となっており、島全体からの信頼があつい。 ・島にとって町の関わりはかかせない。 	

2. 選考の理由

- ・各団体の活動は創造性が有り非常に広くその活動は町民の信頼を得ている。一方、奥尻町は各団体の活動の支援と地域住民との間に立って必要な情報提供や活動の場を提供するなど行って島全体の盛り上がりにも寄与しており、各団体の連携活動（産官学が一体）が町全体の活性化につながっている。
- ・今後、活動がさらに充実し島の宝である「おくしり和牛、紫アスパラ、ウニ、岩牡蠣など魅力的な食材等を生かし、これらの資源を「みがく・つなげる」ための取組や情報発信を進め、島の活性化と交流人口の拡大に期待ができる。
- ・奥尻ワイナリー、オクシリイノベーション事業部及び奥尻町は日本が抱える少子高齢化や過疎、経済の衰退など負の流れを断ち切って、プラスに変えていく組織的な活動である。

以上のことから、3団体を「産官学連携による地域貢献賞」として表彰することが妥当と判断する。